

内閣府委託事業「就職氷河期世代の中途採用及び
職場実習・職場体験等（社会人インターンシップ）に関する調査研究」



社会人 インターンシップ 事例集

中途採用における、就職氷河期世代を含む求職者と
企業のより良いマッチングを目指して



事例集の発行にあたって

平成のバブル景気の崩壊以降、1990年代半ばから2000年代前半にかけて、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った方々（就職氷河期世代）は、たとえば不本意ながら不安定な仕事に就いている方、無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要としている方など、様々な課題に直面してきた方々が多く含まれます。これは、個々人やその家族だけの問題ではなく、社会全体で受け止めるべきものであり、我が国の将来に関わる重要な課題です。

こうした中で、現在、政府では、就職氷河期世代支援プログラム（「経済財政運営と改革の基本方針2019」（令和元年6月21日閣議決定））をとりまとめ、3年間で集中取組期間として、就職氷河期世代の支援に取り組んでいるところです。

就職氷河期世代の方々は、職歴の不足や年齢といった面から、十分な選考の機会を得られにくく、結果として就職に至らないケースがあると考えられます。一方で、中小企業を中心に、人材不足に悩まれる企業も多くあります。

このような認識の下、就職氷河期世代の方々の就職及びその後の定着を支援することがこの課題解決につながるものと考えており、その一環として、就職氷河期世代を中心とする求職者の方と企業とが採用前に出会い、求職者の方が企業における仕事の実際の状況を知るとともに、企業側も求職者の人柄等を見ることができ「社会人インターンシップ」の機会を拡大していくことが望ましいと考えております。

本事例集は、このような背景と課題認識に基づいて、企業に対してアンケート調査やヒアリング調査を行った結果から、就職氷河期世代を中心とする方々の中途採用や「社会人インターンシップ」の事例を収集し、求職者と企業のマッチングの様子や実際に採用に結びついたケースなどを取りまとめました。ぜひ、就職氷河期世代を中心とする求職者の方々に加え、企業の経営者や採用御担当者の皆様にも御一読いただき、就職・採用活動のヒントとして御活用いただけますと幸いです。

最後になりましたが、コロナ禍において、御多忙にもかかわらず調査に御協力いただいた企業・法人の皆様、調査にあたって御助言をいただいた有識者の皆様に、心より御礼申し上げます。

2022年3月

内閣府政策統括官（経済財政運営担当）付参事官（産業・雇用担当）付

【掲載事例について】

- 本事例集の作成にあたっては、以下のアンケート調査・ヒアリング調査の結果から、「社会人インターンシップ」等の取組事例を選定し、掲載しました。

（1）企業アンケート調査

調査対象：ハローワークや若者雇用促進総合サイトに情報掲載されている企業等、「新・ダイバーシティ経営企業100選」受賞企業等から抽出した、全国の大企業・中小企業等2,002社・法人。

実施方法：依頼状・アンケート調査票を郵送した上で、各調査対象に電話にて調査依頼を行い、原則としてWeb上に開設した専用サイトにアクセス・回答（インターネット調査）。2021年10月13日（水）～10月29日（金）に実施。

調査項目：基本情報、中途採用の実施状況、中途採用を実施する上での取組としての社会人インターンシップの実施状況

（2）企業ヒアリング調査

調査対象：企業アンケート調査で回答を得られた企業等のうち、①社会人インターンシップを実施している企業等、②社会人インターンシップは実施していないが中途採用を実施している企業等のうち中途採用者に占める就職氷河期世代の比率や前職が正規雇用以外の比率が高い企業等（計16社・法人）。

実施方法：原則、Web会議もしくは対面で実施。一部企業等は、電話での聞き取りや書面による回答。

調査項目：中途採用の状況、社会人インターンシップの状況、その他工夫している取組等

- 本事例集に掲載した内容は、企業ヒアリング調査の結果を中心に構成していますが、各企業・法人に御確認をいただいた内容となっています。
- 各事例は、概ねの業種ごとに並べて掲載しています。
- 掲載した事例の情報は、原則として2022年3月時点の情報を掲載しています。
- なお、上記の調査及び本事例集では、以下のように用語を定義しています。

「中途採用」

学校卒業後にその企業等以外で就業（パート・アルバイトも含む）した方を正規雇用で採用することを指します。いわゆる第二新卒も含めますが、非正規雇用労働者（派遣労働者、パート・アルバイトなど）の正規雇用への転換は含めません。

「社会人インターンシップ」

中途採用に向けた活動の一環として、学生以外を対象に企業等において就業体験（例えば、社員の指導を受けながら数日間以上、実際の業務を体験するなど）を行うことを指します。ただし、単なる職場見学のみにとどまるものやトライアル雇用（常用雇用への移行を念頭に求職者を3ヶ月以内の有期で試用雇用するもの）は除きます。

株式会社アーキ・ピーアンドシー	4
新卒採用で導入済みのインターンシップを中途採用にも展開 認知度の低い業務を体験し、ミスマッチを防止する	
株式会社イーガーデン近藤	6
マイナーな業種だからこそ、まずは 職場体験 意欲的に働けるよう、応募者からの理解を深め、認識一致を図る	
株式会社勝栄電業社	8
馴染みのない、多くの方が未経験の業種 だからこそ、実習を通じた採用が効果的	
株式会社新潟電装	10
仕事内容の「わかりにくさ」を解消 社会人インターンシップで採用のミスマッチを防ぐ	
六ヶ所エンジニアリング株式会社	12
社会人インターンシップのカリキュラムを工夫 応募者確保・女性技術者の積極採用を図る	
社会福祉法人 E.G.F	14
面接前に職場見学・職場体験を実施 応募者と法人、互いの理解を深める機会を創出	
社会福祉法人クオラ	16
インターンシップで入職前の不安等を解消 入職後は研修で基礎をしっかり身につける	
社会福祉法人新生会	18
介護職の一連の業務体験を実施 相互理解を深め採用ミスマッチを減らす	
社会福祉法人たかはら学園	20
「1日体験」を中途採用で実施 近年の早期離職率低下に繋がっている	
株式会社ダンクソフト	22
「遊び心とイマジネーション」 完全テレワークによるインターンシップと個性を発揮できる組織づくり	
株式会社フィッツ	24
「来たい時に来て」 随時「1Day 企業見学会(通称:1Day インターンシップ)」を開催し、希望者を受け入れ	
BIPROGY 株式会社	26
能力面・人物像の両方のマッチングを重視 IT スキルのみにとらわれない、中途採用における「ポテンシャル採用」の実施	
大橋運輸株式会社	28
「仕事の付加価値は人がつくる」 社会人インターンシップで多様な人材を受け入れ	
オスカー・インターナショナル株式会社	30
「職歴等関係ない」 一緒に成長し、「熱量」や「ビジョン」に共感いただける方を採用するための実習	